

グローバル・ベスト・ファンド

追加型投信 / 内外 / 株式 ※課税上は株式投資信託として取扱われます。



お申込みの際は最新の『投資信託説明書(交付目論見書)』等を必ずご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込み

設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

特徴
1

当ファンドは、グローバルに展開するティー・ロウ・プライス・グループの運用体制を全面的に活用して運用を行います。

ティー・ロウ・プライス・グループの グローバル・フォーカス・グロース株式運用戦略プラットフォーム



あらゆる投資機会



確信度の高い投資アイデア



全方位的なフォーカス

リサーチ重視の徹底したボトムアップ・アプローチによって、
ベスト・アイデアを特定し、ポートフォリオを構築します。



地域別運用戦略
ポートフォリオ・マネージャー



グローバル株式
リサーチ・アナリスト



グローバル・セクター別戦略
ポートフォリオ・マネージャー

当ファンドは、世界中の上場企業から最も魅力があると思われる企業に投資を行います。
(投資対象国は先進国からエマージング諸国まで、企業規模も大型株から中小型株までの
様々な上場企業を投資対象とします。)

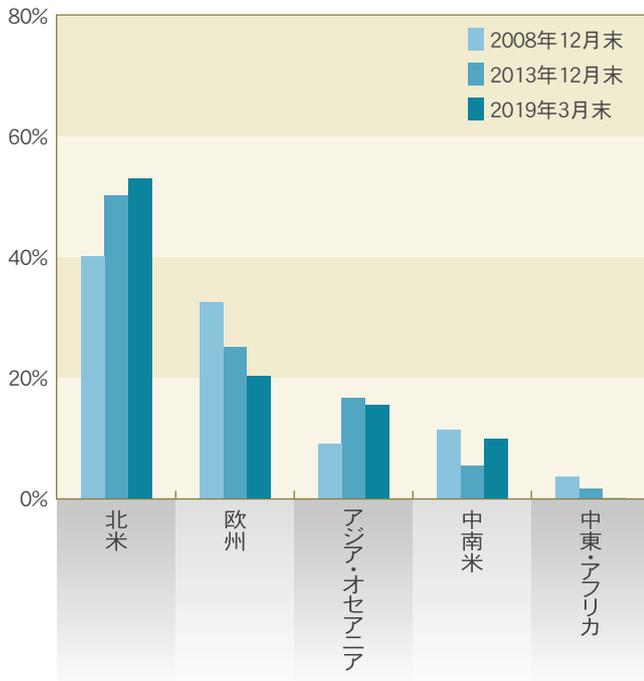
※運用プロセスは将来変更になる可能性があります。また予告なしに変更される可能性があります。



特徴
2

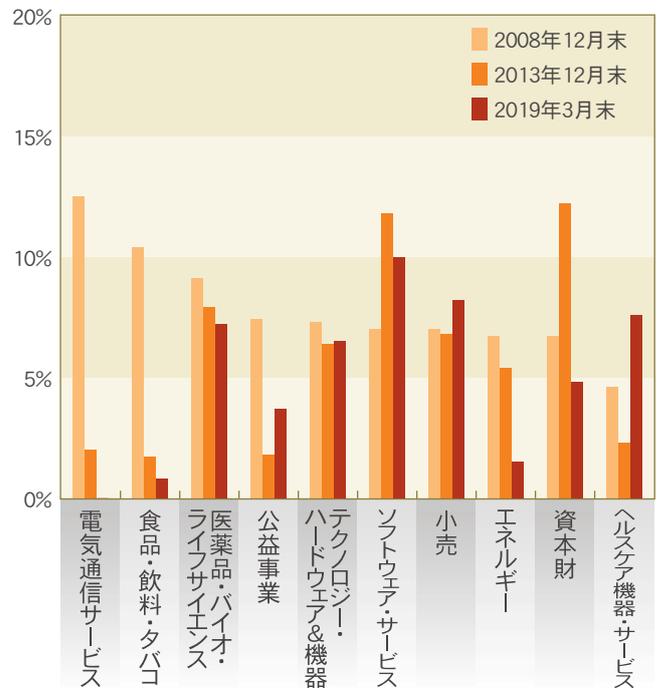
当ファンドは、常にベスト・アイデアに投資を行うため、時代とともに進化、発展する社会において、投資対象となる国・地域、業種、組入銘柄を機動的に入れ替えています。

投資対象国・地域の変遷



※比率はグローバル・ベスト・マザーファンドの純資産総額対比。

組入業種の変遷



※比率はグローバル・ベスト・マザーファンドの純資産総額対比。※業種は世界産業分類基準(GICS)。※2008年12月末時点の組入上位10業種の組入比率を基準に、2013年12月末時点、2019年3月末時点で、どのような割合に変化したかを比較。

組入上位10銘柄の変遷

2008年12月末		2013年12月末		2019年3月末	
組入上位銘柄	[事業内容/国・地域]	組入上位銘柄	[事業内容/国・地域]	組入上位銘柄	[事業内容/国・地域]
1	ウェルポイント [ヘルスケア機器・サービス/アメリカ]	1	アップル [テクノロジー・ハードウェア&機器/アメリカ]	1	アルファベット [メディア・娯楽/アメリカ]
2	アマゾン・ドット・コム [小売/アメリカ]	2	プロクター・アンド・ギャンブル [家庭用品・パーソナル用品/アメリカ]	2	フェイスブック [メディア・娯楽/アメリカ]
3	アメリカ・モビル [電気通信サービス/メキシコ]	3	台湾セミコンダクター [半導体・同製造装置/台湾]	3	エシティ [家庭用品・パーソナル用品/スウェーデン]
4	ジュニパー・ネットワークス [テクノロジー・ハードウェア&機器/アメリカ]	4	ビザ [ソフトウェア・サービス/アメリカ]	4	ベクトン・ディッキンソン [ヘルスケア機器・サービス/アメリカ]
5	ロールス・ロイス・グループ [資本財/イギリス]	5	アジレント・テクノロジー [医薬品・バイオ・ライフサイエンス/アメリカ]	5	センブラ・エナジー [公益事業/アメリカ]
6	ペルノ・リカルル [食品・飲料・タバコ/フランス]	6	AIAグループ [保険/香港]	6	アリババ・グループ・ホールディング [小売/ケイマン諸島]
7	アップル [テクノロジー・ハードウェア&機器/アメリカ]	7	バンク・オブ・アメリカ [各種金融/アメリカ]	7	テンセント・ホールディングス [メディア・娯楽/ケイマン諸島]
8	エーオン [公益事業/ドイツ]	8	ステート・ストリート [各種金融/アメリカ]	8	アマゾン・ドット・コム [小売/アメリカ]
9	オラスコム・テレコム [電気通信サービス/エジプト]	9	プレジジョン・キャストパーツ [資本財/アメリカ]	9	エアバス [資本財/オランダ]
10	イベルドローラ・レノバプレス [公益事業/スペイン]	10	ジュニパー・ネットワークス [テクノロジー・ハードウェア&機器/アメリカ]	10	ロンドン証券取引所グループ [各種金融/イギリス]

※グローバル・ベスト・マザーファンドの組入銘柄。

創業以来不変の
経営理念が
当社*の行動指針

『顧客の成功こそ、 当社の成功。』

トーマス・ロウ・プライス・ジュニア(1898～1983)

ティー・ロウ・プライス・グループ創業者のトーマス・ロウ・プライス・ジュニアは、お客様の需要を重視し、お客様の成功を何よりも大切にしました。創業以来80年以上経った今日も、当社は、お客様第一主義の基本理念を大切に継承しています。

投資や経済をとりまく環境の変化を避けることはできませんが、当社の指針となる経営理念は不変です。当社の企業文化や投資哲学の基盤は、以下の3点です。

*当ページにおける当社とは、すべてティー・ロウ・プライス・グループのことを指します。

誠実

当社がビジネスにおいて最も大切にしていることはシンプルです。

「顧客最優先」

高精度な知見

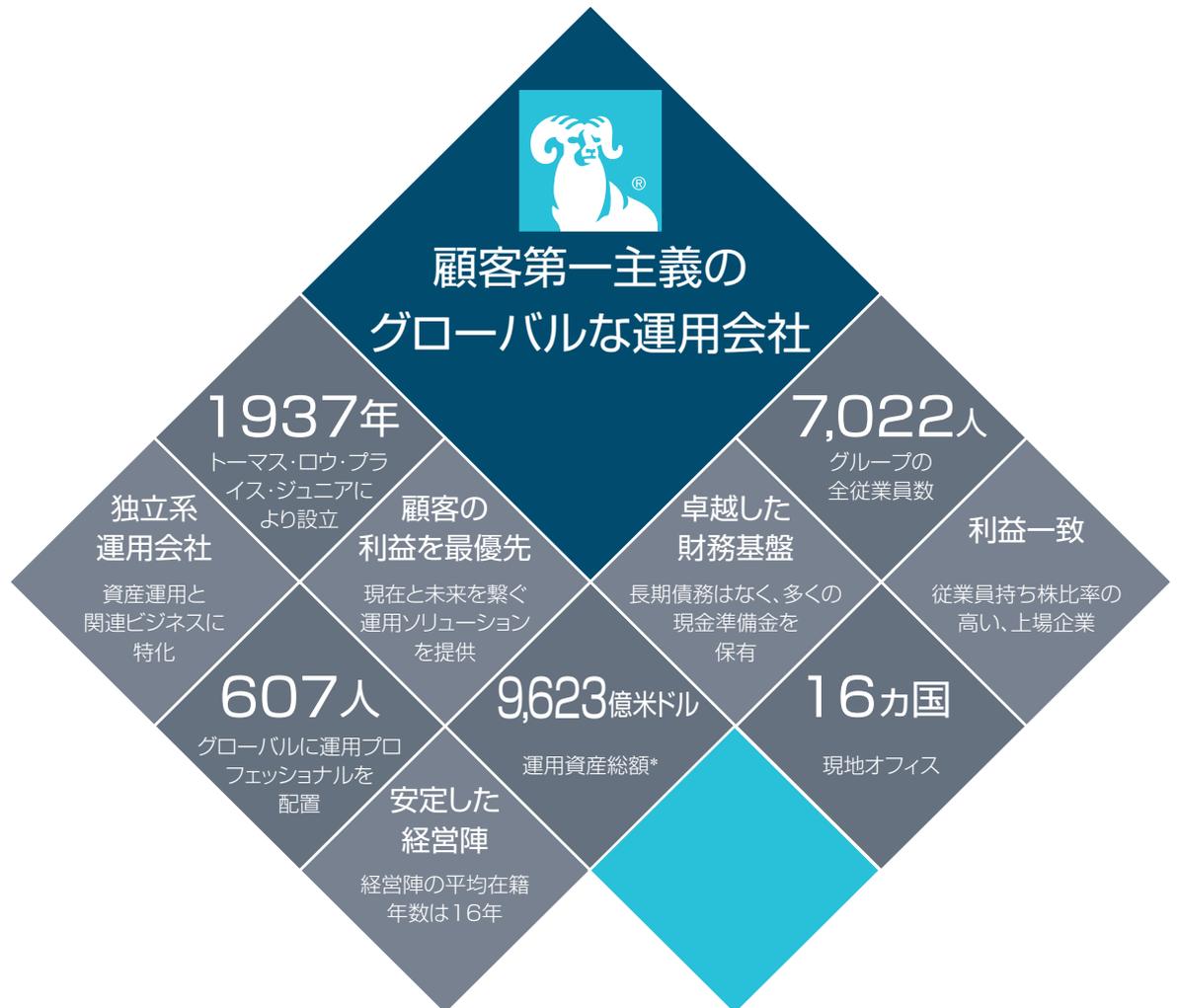
顧客を成功へと導くために、運用プロフェッショナルはリサーチや市場環境などをはじめ投資アイデアを共有・協働しています。

安定性

経験豊富な経営陣、一貫したアプローチ、長期視点に基づく運用、これらが全て顧客を成功へと導きます。

ティー・ロウ・プライス・グループは、

1937年に創立して以来、顧客の利益を最優先することを経営理念とし、約80年の歴史をもつ、米国メリーランド州ボルチモアに本社を置く独立系運用会社です。



*ティー・ロウ・プライス・グループ全体の運用資産額。(2018年12月31日時点)

ティー・ロウ・プライス・グループには、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク、ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド、ティー・ロウ・プライス・香港リミテッド、ティー・ロウ・プライス・シンガポール・リミテッド、およびティー・ロウ・プライス・カナダ・インクを含みます。上記の数値は、別途記載がない限り、すべて2018年12月31日現在。

ティー・ロウ・プライス・グループのグローバル・フォーカス・グロース株式運用戦略コンポジットの実績



※グローバル・フォーカス・グロース株式運用戦略コンポジット(配当込み、費用控除前、以下同)は、グローバル・ベスト・ファンドの類似運用戦略を示すものであり、グローバル・ベスト・ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用実績を示唆、保証するものではありません。※グローバル・フォーカス・グロース株式運用戦略コンポジットおよびMSCI オール カントリー ワールド インデックスは1996年1月末時点をもとに指数化。いずれも米ドルベースで月次データをもとに作成。MSCI オール カントリー ワールド インデックスはグローバル・ベスト・ファンドのベンチマークではありません。※出所: ティー・ロウ・プライス・グループの資料をもとに三井住友DSアセットマネジメント作成

基準価額・純資産総額の推移(2019年3月末)



基準価額騰落率

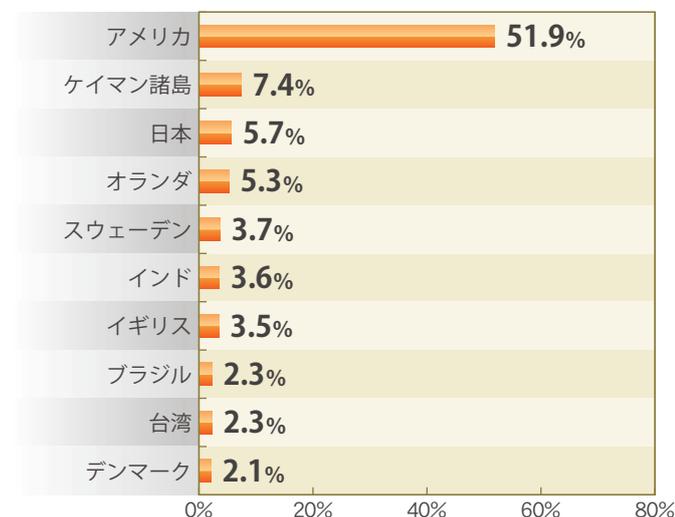
期間	騰落率	期間	騰落率
1年	9.5%	5年	74.1%
3年	51.9%	10年	301.9%
		設定来	90.6%

分配金推移(過去5年間)

決算期	分配金	決算期	分配金
第16期('14/9)	400円	第21期('17/3)	1,100円
第17期('15/3)	1,000円	第22期('17/9)	700円
第18期('15/9)	200円	第23期('18/3)	400円
第19期('16/3)	0円	第24期('18/9)	100円
第20期('16/9)	0円	第25期('19/3)	0円
		設定来	5,300円

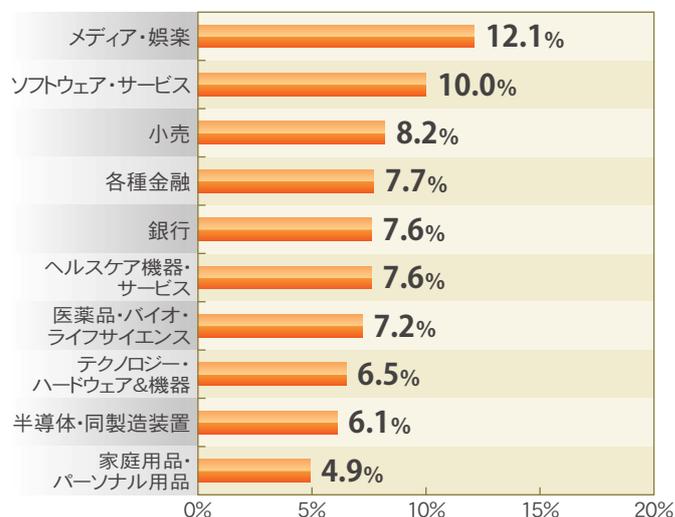
※基準価額は信託報酬控除後、分配金落ち後のものです。※分配金再投資基準価額とは、分配金(税引前)を決算日に再投資したものとみなして修正した価額です。※騰落率は分配金再投資基準価額をもとに算出・表示。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。※分配金は税引前1万口あたりの金額です。※分配対象額が少額な場合等には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません。

国・地域別組入比率(上位10カ国・地域)



※比率はグローバル・ベスト・マザーファンドの純資産総額対比。

業種別組入比率(上位10業種)



※比率はグローバル・ベスト・マザーファンドの純資産総額対比。
※業種は世界産業分類基準(GICS)。

ファンドの目的

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的な成長を目指して積極的に運用を行うことを基本とします。

ファンドの特色

1 グローバル・ベスト・マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式に投資し、“ワールドワイド”に投資機会を追求します。

2 ファンダメンタルズ・リサーチを重視したボトムアップ・アプローチにより、魅力的な成長が期待される銘柄に厳選投資します。

●市場横断的に企業の相対的な魅力度を把握し、グローバル・レベルで比較して成長力があると思われる企業を選定します。

3 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

4 マザーファンドにおける運用指図にかかる権限をティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクへ委託します。

●ティー・ロウ・プライス・グループのグローバルに展開している運用リソースを活用します。

資金動向、市況動向、残存信託期間、残存元本等によっては、あるいはやむを得ない事情が発生した場合には上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

■当ファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。

したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

■投資信託は預貯金と異なります。

■お申込みの際には、販売会社からお渡しします『投資信託説明書(交付目論見書)』の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

基準価額の変動要因

基準価額を変動させる要因として主に以下のリスクがあります。ただし、以下の説明はすべてのリスクを表したものではありません。



その他の留意点

■収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

■クーリング・オフについて

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込みメモ

● 購入単位	お申込みの販売会社までお問い合わせください。
● 購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
● 換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 換金代金は、原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
● 購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合はお申込みできません。
● 信託期間	2006年9月14日～2021年9月10日(約15年)
● 決算日	毎年3月、9月の10日(該当日が休業日の場合は翌営業日)
● 収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 * 分配金再投資コースを選択された場合は、税金を差引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

ファンドの費用

当ファンドのご購入や運用期間中には以下の費用がかかります。

投資者が直接的に負担する費用

● 購入時手数料	購入価額に 3.24%*1(税抜3.0%)を上限 として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。 ※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。 *1 消費税率が10%になった場合は、3.3%となります。 購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。
● 信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

● 運用管理費用(信託報酬)	<p>毎日、信託財産の純資産総額に年率1.8792%*2(税抜1.74%)を乗じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 *2 消費税率が10%になった場合は、年率1.914%となります。</p> <p><運用管理費用(信託報酬)の配分></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託会社</th> <th>年率0.84%(税抜)</th> <th>ファンドの運用等の対価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売会社</td> <td>年率0.84%(税抜)</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年率0.06%(税抜)</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>※委託会社の報酬には、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクへの投資顧問報酬が含まれます。 投資顧問報酬は、信託財産に属するとみなされるマザーファンドの時価総額に対して年0.504%以内の率を乗じて得た金額とし、委託会社が報酬を受け取った後、当該報酬から支払います。</p>	委託会社	年率0.84%(税抜)	ファンドの運用等の対価	販売会社	年率0.84%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	年率0.06%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
委託会社	年率0.84%(税抜)	ファンドの運用等の対価								
販売会社	年率0.84%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価								
受託会社	年率0.06%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価								
● その他の費用・手数料	<p>財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料等、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。 ※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>									

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みの際は最新の『投資信託説明書(交付目論見書)』等を必ずご覧ください。

三井住友DSアセットマネジメントでは、インターネットによりファンドのご案内、運用実績等の情報提供を行っております。<https://www.smd-am.co.jp>

■当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。■当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書(交付目論見書)と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)が優先します。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。